

第2回高性能多核種除去設備壁タスクフォース議事概要

日時：平成26年2月28日（金）10:00～12:00

場所：経済産業省 別館5階 509共用会議室

出席者：田中知主査、山本徳洋委員、塚田毅志委員、山本正弘委員、長谷川正巳委員、沼田守委員、東京電力、日立GEニュークリア・エナジー、東芝、新川 原子力発電所事故収束対応室長

議事概要：

1. 実施計画の申請内容について【資料1】
2. ラボ試験及び検証試験計画と進捗について【資料2】

<事業概要について、主なコメント>

・吸着により処理水の成分が変わり pH が変化すると思われるので、それを考慮した試験をすべき。（沼田守委員）

・カルシウムとストロンチウムの分配係数及び腐食性を考慮した設計とする。（事業実施者）

・稼働率を高めるためにどのような工夫をしているのか。（田中知委員）

・前処理のフィルタを2系列とし、フィルタ交換時も運転継続可能な設計としている他、吸着塔はメリーゴーランド運転を行うことで、稼働率90%以上を目指している。（事業実施者）

・実証試験では装置の健全性を監視できる仕組みがあるのか。（山本正弘）

・動的機器は年1回の点検を予定している。その他にも、フィルタの交換作業時にフランジ等の腐食確認ができるので、そこで材料の健全性も併せて確認する。（事業実施者）

・実機が稼働してからも引き続き検証試験を継続することは意味があるので、検証試験と実証試験の全体スケジュールを整理すべし。（山本徳洋委員）

・拝承（事業実施者）

以上